

## ryuchell、pecoと夫婦関係解消 自身の生き方に葛藤

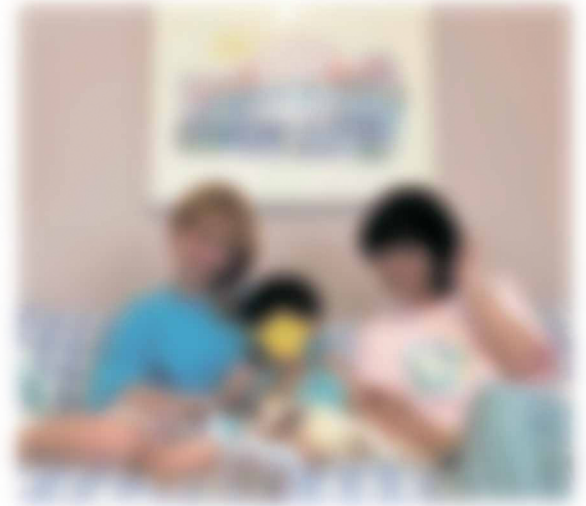
2016年に結婚したタレント、ryuchell（りゅうちえる、26）とpeco（ぺこ、27）が25日、互いのInstagramで夫婦関係を解消すると発表した。ただ、親子3人の写真を添え、「これからは“夫”と“妻”ではなく、人生のパートナーとして、息子の親として、今まで通り家族で暮らします」と宣言。離婚届提出などについてはふれていない。

ryuchellはpecoが人生で初めて好きになった女性で「男としての幸せを教えてくれた」と切り出し、「一生一緒に居たいと思えたからこそ結婚して夫婦になる道を選択し、その愛が形になり、最愛の息子も生まれました」と説明。

その上で「“本当の自分”と、“本当の自分を隠すryuchell”との間に、少しずつ溝ができてしまいました。多様な生き方を呼びかけてきた僕なのに“夫”であることは正真正銘の“男”でないといけないと」と自身の生き方に葛藤していたことを告白。このままでは自分が駄目になるとpecoに打ち明け、「今まで辛かったね」と泣いて抱きしめてくれたことも明かした。

一方のpecoも夫に理解を示し、「これからも今まで通り3人で暮らしていきます」と引き続き同居するという。

ryuchellは人類が安定して暮らせる世界を目指すSDGs（持続可能な開発目標）に力を入れており、活動を通してあるべき本来の自分を発見したようだ。



**【考えてみよう①】 この記事に関連するSDGs目標は、次の1～17のうちどれか？  
（※当てはまるものに○をつけよう!）**



1年組 番 名前 ( )

# “魔女”として両親に捨てられた男の子、 宣教師の思いやりが救う 1年で驚くべき回復

優しさと思いやりのなせることは、何と素晴らしいことだろう。ナイジェリアの道端で、両親に捨てられた1人の男の子が、ある女性宣教師の手によって救われた。そして、それから1年たった今、男の子は学校に通い始めるところまで健康を取り戻したという。

米キリスト教メディア「フェイス・ワイヤー」によると、人道支援のためにナイジェリアに来たデンマーク人宣教師のアンジャ・リングレン・ローベンさんは、今から1年前、道端に置き去りにされた2歳の男の子の元に駆け寄った。男の子の両親は、息子が魔術使いだと考え、道端に置き去りにし見殺しにしようとしたという。男の子は置き去りにされてから8カ月間、通行人の残飯などを食べ何とか命をつなぎ、ローベンさんが発見したときにはひどい栄養失調の状態だった。

ローベンさんは4年前、デンマークにあった財産全てを売り払い、魔術使いだとして捨てられる子どもたちを救うNGO「アフリカ児童教育開発援助基金」(ACAEDF)を設立するため、ナイジェリアにやってきた。ナイジェリアでは、両親たちから「魔女」や「魔術使い」と考えられ、拷問や殺害に遭う子どもたちが多くいるという。

ローベンさんは、この男の子と出会った時、クリスチャンとしての思いやりを彼に示した。男の子に食べ物を与え、病院へ送り、その後は自分の家で引き取り、「ホープ(希望)」と名付けて育てたのだ。

ホープ君と出会ってから1年後、ローベンさんは、この1年で驚くほど回復したホープ君の写真を、コメントを添えて自身のフェイスブックに投稿した。



「2016年1月30日、私は、デビッド・インマニュエル・ウムムさん、ヌシデベ・オロクさん、そしてナイジェリア人のチームで救援活動に出掛けました。この活動については、その後ネット上で急速に広まりました。こうして全世界がホープのことを知るようになったのは、今からちょうど1年前のことだったのです。そして、今週からホープは学校に通うのです」

ホープ君の回復に多くの人たちが驚いた。そして、ローベンさんが思いやりあふれる心を持ち、彼をここまで育ててくれたことに感謝の気持ちを伝えた。また、彼女の優しさをたたえ、神の祝福を祈った人々も多くいる。

ある男性は、「あなたに対する私の気持ちをどう表現したらいいでしょう。全能なる神が、あなたを祝福し続け、素晴らしい仕事を続けるために、力と健康を与えてくださいますように。あなたは、絶望に打ちひしがれている人たちに希望を与えてくださいました。あなたのことを心から尊敬しています」とコメントした。

またある女性は、「ホープ君の目覚ましい成長を見てとても幸せです。あなたは、ここにいる小さな子どもたちの天使です。この素晴らしい献身的な働きに感謝します」とつぶった。

## 【考えてみよう②】このような問題を解決するための目標は、次の1～17のうちどれか？

